



四国だより

2024.1 第2号



一般社団法人 日本道路建設業協会四国支部

支 部 長 挨 拶

新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

一般社団法人日本道路建設業協会四国支部の支部長を務めさせていただきます。ありがとうございます。

協会員の皆様におかれましては、常日頃より当協会の活動に格別のご高配とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、世界各国で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の法的な位置付けが、昨年5月より5類感染症に移行され、ようやくかつてのような日常を取り戻すことができました。

その一方で、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルによるパレスチナ（ガザ地区）攻略など、政情不安は世界各国へと飛び火し、食料やエネルギー価格を中心とした市況の高騰により、我々道路建設業界にとっても大変厳しい状況が続くものと考えられます。

このような状況の中であっても、社会インフラの整備という重責を担う我々業界は、協会における様々な活動を通じて社会に貢献することで業界全体の発展に寄与するものと考えておりますので、今後も更なるご理解、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

現在、一般企業に定められている「時間外労働の上限規制」が2024年4月より我々建設業にも適用されます。協会員のみなさまにおかれましては「長時間労働の是正」に向け様々な取り組みを実施されていると思いますが、道路建設業界は入職者の確保が難しいうえ、主に若年層における離職者が増加傾向にあり、将来の「担い手の確保」が喫緊の課題となっております。

この状況を打破するためにも、道路建設業の社会的評価の向上を図り「人が集う魅力ある道路建設業界」を実現すべく、「適正な工期の設定」や「週休二日制度の推進」などの理解を促すための要望活動を積極的に展開するとともに、人材の確保・育成に向けた様々な支援を実施することで、協会活動の更なる活性化と会員サービスの向上を目指す所存です。

また、近年の自然災害の激甚化は深刻な問題であり、有事における迅速かつ的確な対応が我々道路建設業界に求められております。そのためには、我が国の道路インフラ整備が促進され、地震や豪雨等による被災地域の復旧・復興が迅速に進められることが大前提であり、必要な関係予算が安定的かつ持続的に確保されるよう協会が働きかけてまいりたいと思っております。

最後になりますが、2024年が協会員の皆さまにとって素晴らしい年となりますことを心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



支部長 松井 耕二

(大林道路株式会社四国支店 執行役員支店長)

幹 事 長 挨拶

新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

協会員の皆様におかれましては、常日頃より当協会の活動にご支援とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

当協会の四国支部は14社を擁する団体として「道路整備の推進」「道路技術の向上」「道路建設業の健全な発展」の3つを基本方針として活動してきました。今後とも、高規格道路をはじめとする道路網の整備推進、少子・高齢化社会、情報化社会を支える道路機能の充実はもちろん、「安全な舗装」「環境にやさしい舗装」「長寿命の舗装」などの新技術、新工法、新材料の開発に取り組み、「トータルコスト」で良いものを安く提供する努力を続けながら皆様方のニーズに応えてまいります。

さて四国支部事業活動については、社会貢献の推進として道の駅大歩危、道の駅はかたへ子育て応援施設等の整備を支援、道路清掃等を通じた社会貢献活動、災害対策への対応として防災支援体制の整備、防災訓練の実施をおこなっております。また、道建協本部主催講習会等への支援としてi-Construction技術講習会の開催、及び舗装施工管理技術者及び舗装診断士資格試験の実施も行っております。

四国支部主催講習会の実施内容については、コンプライアンス活動として講習会の開催、支部会員会社の専門知識を持った技術者が講師となる道路舗装技術に関する四国地方整備局とのWeb技術講習会、会員会社による合同安全パトロールの実施、四国地方整備局等との意見交換会を事業活動としています。

一方、道路建設業界は、入職者の確保が難しいいうえに離職者の増加などもあり、将来の担い手不足が危惧される中で「担い手確保」が依然として大きな課題となっています。このため道路建設業の社会的評価の向上に向け、引き続き人が集う魅力ある道路建設業界を実現すべく活動するとともに、協会活動の更なる活性化と会員サービスの向上を図ることに益々取り組んでいきたいと考えております。

最後に会員各社皆様の今後益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。



幹事長 岩崎 秀紀
(日本道路株式会社四国支店 支店長)

【支部活動】 支部定時総会の開催

(一社)日本道路建設業協会四国支部は、令和5年6月12日(月)にJRホテルクレメント高松において、第58回定時総会を開催しました。

本部からは、西田義則会長、吉川芳和副会長、増田博行副会長兼専務理事、石井敏行常任理事、石井直孝常任理事、今泉保彦常任理事、平喜一常任理事、森下協一常任理事、吉田英信常任理事、島崎直昭常務理事にご出席いただきました。



初めに松井支部長が開会挨拶を行い、続いて西田会長よりご挨拶をいただきました。



松井支部長 開会挨拶



西田会長 来賓挨拶

続いて議事に入り、令和4年度事業報告、令和4年度決算、役員選任の承認が原案どおり決議されました。また、令和5年度事業計画、令和5年度予算及び会員の異動について、事務局より報告を行いました。

また、支部総会の終了後、技能社員表彰の伝達式を行い、西田会長より表彰状及び記念品が授与されました。



【支部活動】 道路建設意見交換会の開催

(一社) 日本道路建設業協会は、令和5年6月12日(月)にJ Rホテルクレメント高松において、四国地方整備局、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、及び西日本高速道路(株)四国支社との道路建設意見交換会を開催しました。四国支部からは全会員(14社)が出席されました。

【意見交換の議題】

1. 公共工事予算の安定的・持続的な確保
2. 道路舗装工事における労働環境の改善
3. 道路舗装工事における i-Pavement と新技術開発の推進と普及
4. 入札・契約制度の改善
5. 工事積算の改善
6. 道路舗装のメンテナンスサイクルの確立
7. 道路空間の環境改善
8. 社会貢献活動

【主な出席者】

日本道路建設業協会 : 西田会長、吉川副会長、増田副会長兼専務理事
松井四国支部長、岩崎四国支部幹事長 他

四国地方整備局 : 荒瀬局長、原田企画部長、清水道路部長

徳島県 : 榎本県土強靱化統括監

香川県 : 生田土木部次長

愛媛県 : 中川土木部長

高知県 : 荻野土木部長

西日本高速道路(株)四国支社 : 後藤副支社長



荒瀬四国地方整備局長挨拶



西田会長挨拶



4県 NEXCO 参加者の皆様



会場全景

【支部活動】 道路舗装に関するW e b 技術講習会

昨年度に引き続き、令和5年12月1日(金)に四国地方整備局災害対策室において、道路舗装に関する技術講習会を開催しました。

講習会は多くの方が参加できるようW e b で開催し、四国地方整備局の若手職員、技術系大学生、自治体、建設コンサルタント、四国支部会員ら約160名が参加しました。

今回の講習会では、受講生の皆様に道路業界に興味を持ってもらえるよう、講師には自己紹介や体験を踏えたお話をしていただきました。講習会が道路舗装業界の魅力を発信する一助になればと願っております。



▲奥田企画部長挨拶



▲松井支部長講評



▲鹿島道路 加藤さん 舗装工事の概要



▲ガイアート 新田さん、堤さん
アスファルト舗装の設計



▲大成ロテック 西村さん
舗装の損傷事例



▲大林道路 猪森さん
動画によるアスファルト舗装事例の紹介

【支部活動】 i-Construction 技術講習会

日本道路建設業協会と四国地方整備局は、令和5年12月20日(水)に四国地方整備局四国技術事務所において、舗装 i-Construction 技術講習会を開催しました。

平成28年度に i-Construction が土工事に導入され、平成29年度には ICT 舗装工事として直轄工事で発注され始めたことを受け、日本道路建設業協会では平成29年度から地上型レーザースキャナー(TLS)を用いた測量と出来形管理に関する技術講習会を全国で開催しています。

講習会は日本測量機器工業会にご協力頂き、実習ではメーカー技術者が3台の実機を操作しながら操作方法、測量時の注意事項、機器の特性などについて説明をしました。

■講習内容

1. 四国地方整備局のi-Constructionの取組【座学】
2. 舗装のICT施工技術【座学】
3. 地上型レーザースキャナー(TLS)を使った測量と出来形管理（日本測量機器工業会）
 - ① 【座学】3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編」等の解説
 - ② 【座学】ICT活用工事（舗装工）5つのプロセスとソフトウェアの説明
 - ③ 【実習】TLSの精度確認試験（鉛直精度、平面精度）
 - ④ 【実習】TLSによる出来形計測
 - ⑤ 【座学】レジストレーション、TLSの精度確認結果の解説
 - ⑥ 【座学】3次元設計データの作成、3次元点群データの処理
3次元出来形の施工管理と3次元データの納品
 - ⑦ 【座学】i-Construction FAQ解説



【支部活動】 建設フェア四国2023 in 高松

令和5年11月17日～18日の両日、香川県のサンメッセ高松にて「建設フェア四国2023 in 高松」が開催され、四国支部から7社が出展されました。



鹿島道路(株)四国支店
AKD 舗装、Kajima Smart Site Link



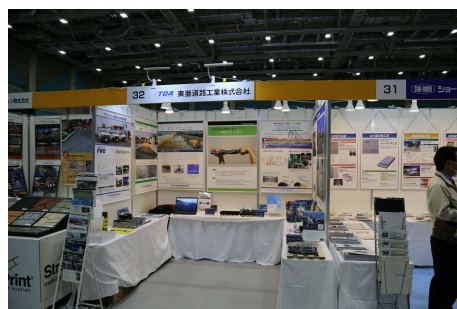
大林道路(株)四国支店 アイスストッパーR
(凍結抑制舗装)、ミチシリーズ(安全製品)



前田道路(株)四国支店
レーザースキャナーによる出来形管理



(株)ガイアート四国支店
FFP(多機能型排水性舗装)



東亜道路工業(株)四国支店
FR バインダー、樹脂防水一体型アスファルト舗装



(株)NIPPON四国支店
中温化(低炭素)アスファルト混合物 ECOフォームド



日本道路(株)四国支店
海洋環境への取り組みとし、アスファルト舗装へのペットボトルの再生利用(PETアスコン)。また、脱炭素社会に向けて、間伐材等を利用した木煉が展示されていました。木煉からは利用した素材(お茶、コーヒー、杉など)の香りがし、子供たちに安全な製品となっています。

会社紹介（鹿島道路株式会社 四国支店）

令和5年11月17日(金)、18日(土)の両日、サンメッセ香川において「建設フェア四国2023 in 高松」が開催されました。約100の建設関係企業・団体が7つの出展分類に分かれ、最新の技術やアイデアを各ブースにおいて展示を行い、2日間で約3,700人の方々が来場されました。

当社もこの貴重なイベントに「環境」の出展分類で参加させていただきました。以下に展示した主要な技術2つを紹介させていただきます。



① KSSL

KSSL (Kajima Smart Site Link) は、従来のアスファルト舗装工事の現場管理をIoT・ICT技術を用いてデジタルデータで一元管理する舗装統合管理アプリケーションです。

具体的には、アスファルト混合物の出荷から荷下ろしまでの材料温度やダンプの走行位置、経路、現場到着予想時刻、アスファルトプラントへの帰着予想時刻等をリアルタイムで表示・確認ができ、荷台の温度変化によって荷下ろし位置を特定し、その位置での敷均し、転圧温度を記録することができます。また、転圧回数管理も同時に実施できるため、ダンプ1台毎のトレーサビリティを総合的に確保することが可能となり、舗装管理業務のスマート化を実現しました。

今後、遠隔臨場機能、納品情報の電子化、出来形管理・品質管理との連携など、更なる現場のスマート化に向けた機能拡充を予定しています。

本技術は、四国横断自動車道 徳島東舗装工事(写真右)において適用しております。



② AKD舗装



AKD舗装 (Anti Kerosene and Durability pavement) は高耐久型アスファルト混合物を用いた舗装で、一般的な舗装に比べて、耐流動性、耐油性、ねじり抵抗性に優れており、舗装の長寿命化が図れます。

AKD舗装のアスファルト混合物は、通常のアスファルト混合物に専用の添加材を添加するだけで製造できますので、特別な設備を必要としません。

本技術は、八幡浜港フェリー埠頭(写真上)や大手物流会社施設の舗装工事などに採用されております。

会社紹介 (株式会社佐藤渡辺 四国支店)

株式会社佐藤渡辺は、今年で『創立 100 周年』を迎えました。その中で四国支店は香川県高松市に事務所を構えています。これまで舗装工事・土木工事の他に、日本初となる透水性コンクリート舗装(パーミアコン舗装)の開発・普及や、重量型緑化エコブロック舗装、高耐久型木質系舗装、雨水貯留槽など多くの環境景観製品の開発・工事にも積極的に長年品質重視で取り組んで参りました。

その中から、今回は自社の雨水貯留槽「リ・タンスイシステム(AE-1型)」についてご紹介いたします。

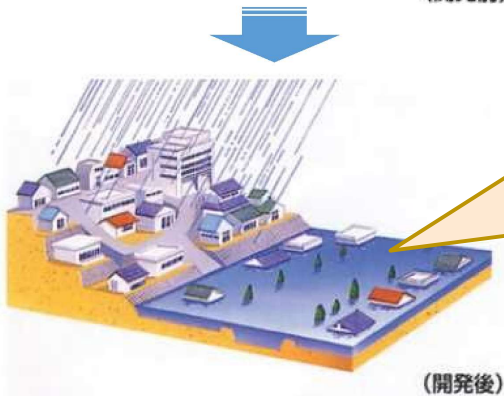


①雨水貯留槽とは？

近年、市街化が進み、本来田畑だった土地が、新たに舗装され、都市としての姿を取るようになりました。

それに伴い、これまでは地面に吸収されていた雨水が、舗装では弾かれ吸収されなくなったため、道路が冠水する等の水害に繋がりはじめました。

その水害の対策として、吸収されなかった分の水を地下に貯めておこうというのが「雨水貯留槽」です。



地面に吸収されなかった雨水が**道路に貯まってしまう!** ☹️

宅地造成等によって、雨水が地下に浸透せず、河川等に一度に流出して浸水被害をもたらす

引用: 流出抑制対策 (国土交通省) [000783797.pdf \(mlit.go.jp\)](https://www.mlit.go.jp/000783797.pdf)

②雨水貯留槽「リ・タンスイシステム(AE-1型)」

雨水貯留槽の中でも、我が社の雨水貯留槽は、プラスチック製貯留槽と呼ばれるもので、強度の強い小さなプラスチックのブロックを積み重ねて、地下に貯留槽を形成します。

【プラスチック製貯留槽のメリット】

- ✓ 軽いため、槽を組む施工が**簡単**
- ✓ コンクリート製のものに比べて**低価格**
- ✓ 小さなブロックなので、保管・運搬が**楽**

しかし!

雨水貯留槽があると…?



地下に雨水を貯められる♪

すごい!

さらに...【リ・タンスイならではの】

✓強度が強いため、重たい車が乗っても大丈夫（他の製品だと車が重いと壊れるものもあります）

壊れない！



上に乗っても大丈夫！！

リ・タンスイ（貯留槽）

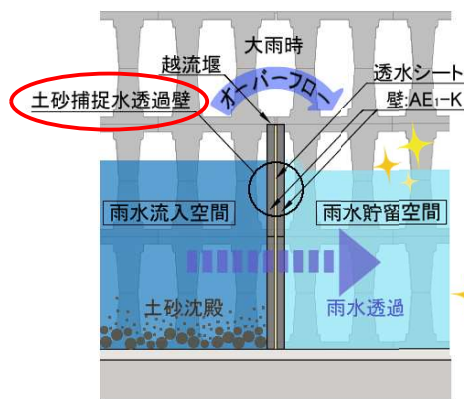
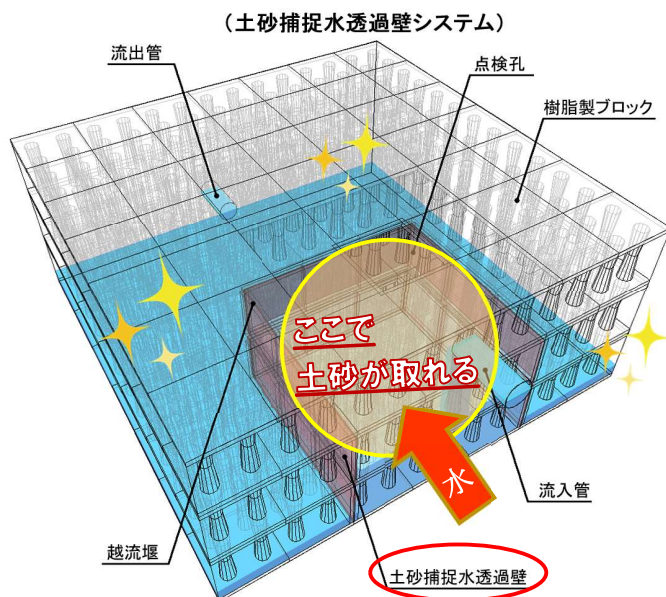
※どれくらいの車が乗れるかは工事の条件によります
詳細はお問い合わせください。

大型車の通行・駐車ができます😊／



T-25 と呼ばれる重たい車両＝
バスやトラック、「はしご付消防車」などが上に乗っても壊れません。
そのため駐車場の下に貯留槽設置が可能です。
また、消防車が上に乗れるため、救助活動に車両制限がありません！

✓貯留槽内に点検孔・ゴミ取り用のフィルターが設置可能



当社オリジナルの「土砂捕捉水透過壁」（ゴミ除去壁）が貯留槽内に入る土砂・ゴミを取り除き、槽内・管回りへの異物混入を防ぎます。

✓施工後も安心の補償付き
⇒完成・併用後も賠償責任保険が附帯されます。

✓再生プラスチックを使用しているため、環境にやさしい
⇒「環境配慮」をテーマにした建設現場や完成施設にお勧めです。

皆様もぜひ、佐藤渡辺のリ・タンスイを駐車場等にご利用してみてください。

お問い合わせは、(株)佐藤渡辺四国支店 担当：藤岡（087-844-2800）まで

会社紹介（大成ロテック株式会社 四国支社）

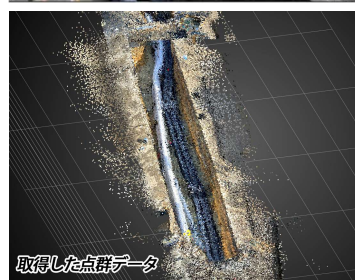
大成ロテックは、1961（昭和 36）年の創立以来、大成建設グループの中核企業として、全国の道路や空港、スポーツ施設など、様々なインフラ整備を手掛けています。また、自社工場にてアスファルト合材を中心とした建設用資材の製造・販売・リサイクルも行っています。さらに近年は脱炭素社会の実現に向けて、中小水力発電事業や新技術・新材料の開発などにも注力しています。四国支社では営業所を高松市と伊予市に、合材工場を三好市、美馬市、西条市に設置し、支社管内の工事に対応しております。

◆電線共同溝工事における「モバイル端末を用いた出来形計測システム」の適用

当社では、建設DXに寄与する取り組みとして、東京大学生産技術研究所の水谷司准教授、株式会社エム・ソフトと共同で掲題システムの開発を行っており、現在当社が徳島県で施工を行っている「令和5年度 国道55号美波地区電線共同溝工事」でも本技術を導入しています。

この技術は、LiDARカメラ搭載モバイル端末に当社開発の3次元計測アプリ「TechScan3D」をインストールして対象物をスキャンすることで、土木の現場で求められる点群データの取得を可能とするシステムです。

当該現場では、埋戻し前の敷設管路を3次元出来形データとして記録することで、不可視部の施工エビデンスとするとともに、施工完了後の維持管理の効率化が期待されています。



◆「テクノフォーラム 2023」を開催

1992年から開催されているテクノフォーラムは、当社における事業活動の成果を発表し、「技術的な視点や施工のノウハウなどの水平展開」および「社員のプレゼンテーション能力の向上」を目的としており、今回で20回目を迎えました。

今年は10月30日に開催し、工事での品質確保や営業戦略、カーボンニュートラルの取り組みなどに関する12編の論文に対して、その内容と当日のプレゼンテーションによって審査が行われました。

社内の新たな取り組みについてタイムリーに情報を共有して切磋琢磨し合うこのような場が、当社が持続的成長を続ける上でも非常に重要であると考えています。



会社紹介 (東亜道路工業株式会社 四国支店)

弊社はアスファルト乳剤の製造を行っていた日本液体アスファルト工業株式会社を前身として昭和5年(1930年)11月28日に創業し、舗装材料メーカー・工事施工を両輪として現在に至るまで社会基盤の発展に努めてまいりました。



EMULSIONの頭文字Eと道路から着想を得た社章



四国支店では四国四県を管轄地域とし各種案件に対応しています。

今回記事掲載の機会をいただきご紹介させていただくのは弊社にて今年度制定しました「健康と環境の日」についての内容となります。

・健康と環境の日(Health & Environment Day)

CSR活動の一環として社員自ら健康と環境について考え、自主的に健康・環境問題に対してアクションを起こす動機付けを目的とし、毎年11月第2週金曜日を「健康と環境の日(Health & Environment Day)」と位置付けました。

当取り組みは全国の事業所で行われ、事務所内での紙媒体使用をゼロにするペーパーレスオフィスデー、エレベーターの終日停止によるエネルギーセービングなど様々な観点やアプローチをもって健康状態の見直し・環境負荷低減への意識向上を図っています。



なかには自治体と連携し出前講座による「ゼロカーボンシティ宣言」への官民一体となった脱炭素社会への取り組みを勉強させていただく貴重な経験もありました。

社会基盤の発展に寄与することを生業としておりますが、同時に施工・製造にあたっては環境負荷が著しいという面も持ち合わせていますので、持続可能な社会の実現にむけて、また現代の社会基盤を支える一員としてまさに全身全霊を以て取り組まなければならない喫緊の課題であると認識しております。

当取り組みにより人的資本としての健康、また、生活や業務において密接不可分である環境問題への意識をより深める一助となりました。

会員だより （鹿島道路株式会社 荒木 健作）

道路会社の機械系社員として

私は鹿島道路に勤務する機械系社員です。スケールの大きな現場にかかせない大型機械や特殊機械を操作し、スペシャリストとして活躍する、こういった先輩社員の姿に憧れ入社しました。入社後は当社の機械系社員の拠点である機械センターに属し、これまで全国のさまざまな種類の工事の応援・指導を通して、大変貴重な経験を身に付けることができました。機械センターでは開発設計の業務も担当し、自ら設計、製作した特殊機械を自ら現場で操作するという機械系社員ならではの醍醐味を味わうこともできました。



こういった業務経験を経て、現在は当社の中国支店、四国支店の2支店の全ての機械に関する責任者として、機械の管理、整備、現場支援、指導など、地域的にも内容的にもとても広範囲に渡る業務を担当しております。

G N S S (汎地球測位航法衛星システム)やT S (トータルステーション)など高度な測位システムを用い、計測や施工を行うのがI C T施工になります。当社はI C T技術を積極的に機械施工に取り入れ、高精度な自動制御を実現し、建設の生産性や品質の向上を高めており、最近では、こうした最先端機器の知識を常に更新しながら身に付け、現場で実践的に導入するのも機械系社員の重要な業務となっています。

今後も日々進化する舗装技術に合わせて学び、スキルアップを図りながら、当社の品質や安全を支えていけるよう頑張っていきたいと思っております。



コンクリート舗装の現場指導も行います



現場ではドローンで空撮も行います



休日は愛車の整備も楽しみの一つです

会員だより（株式会社佐藤渡辺四国支店 藤岡 勝巳）

ご朱印巡り！

私は令和5年4月に大阪から四国へ配属になりました株式会社佐藤渡辺の藤岡です。

地元の神戸での少し古い話ですが、当時少しはまっていたご朱印巡りの1日について聞いて頂きたいと思います。

平成28年12月に家族で赤穂の大石神社に参拝に行ったときにご朱印帳を買ってそのまま1年半くらい放置していたのに気づき、平成30年のゴールデンウィークを利用して地元の神戸市内の神社巡りをする計画を立てました。

右記のスケジュール表を作成し9ヶ所の神社をめぐるご朱印ツアーを平成30年5月4日に実行しました。

当日は気候もよく天気にも恵まれて順調にスタートしましたが基本電車と徒歩での移動を計画したので終盤の神社は少しへばってしまい時間が間に合わないかと焦りましたが何とか予定通りご朱印を頂くことができました。

中でも神戸市東灘区にある弓弦羽(ゆづるは)神社は名前が似ているとの理由でフィギュアスケートの羽生結弦さんが立ち寄ったことがあるとのことで若い女性ファンがたくさん訪れていました。

ご朱印を始めるきっかけとなった大石神社と今回のご朱印ツアーで一番気に入った生田神社のご朱印を紹介したいと思います。

大石神社は皆様もご存じの赤穂浪士四七義士が祀られている神社です。

生田神社は神戸を代表する神社です。生田神社は阪神淡路大震災で大きな被害にありましたが見事に復活した神社として有名です。

今回はなにかの縁で四国に配属になったの

で、道後温泉、善通寺、金刀比羅宮、桂浜、はりまや橋などの四国の名所・観光地に行ってみたくと思います。最終的に四国八十八箇所をお遍路さんとなってご朱印を頂くツアーが実現出来たらいいかと思っています。

四国に来てまだ日が浅くわからないことも多いですが色々のご指導の方よろしくお願ひします。



御朱印巡り(京阪神)行程表 2018年5月4日

時刻	移動時間	駅名・移動手段	徒歩距離	料金・目的地	所要時間
8:00		自宅			
8:30	30min	新長田のワイフ駐車場		600円	
8:45	15min	徒歩			
9:00	15min	高速長田(神戸高速)		130円(神戸高速)	
9:10	10min	高速神戸(神戸高速)	200m		30min
9:20	10min	徒歩	100m		30min
10:20	15min	高速神戸(神戸高速)		130円(阪神or阪急)	
10:35	10min	三宮(阪神or阪急)	200m		30min
10:45	15min	徒歩	400m		30min
12:00		三宮(阪急)		190円(阪急)	
12:20	20min	御影(阪急)			
12:30	10min	徒歩	200m		30min
12:40	15min	徒歩	400m		30min
14:20		住吉(JR)		180円(JR)	
14:35	15min	さくら岡川			
14:45	10min	徒歩	200m		30min
15:15	35min	西宮(阪神)		420円(阪神)	
15:50	20min	高速長田			
16:40	20min	新長田のワイフ駐車場	500m		30min
17:00		豊水			
17:15	15min	徒歩			30min
17:45		自宅			



小豆島の魅力！

2023年9月中旬に家族で小豆島へ観光に行ってきました。多くの名所がある小豆島ですが、その中で印象に残った所を3つに分けて紹介したいと思います。

1つ目は地中海を彷彿させる景色です。香川県は温暖少雨で気候が温和ですが、その中でも小豆島は特に降水量・日照時間の長さが地中海性気候に近く、その特徴がオリーブの栽培に適しており、日本で有数のオリーブ生産の地となっています。左の風車の



写真は道の駅小豆島オリーブ公園内のギリシャ風車であり、周辺はオリーブ畑で海を臨める場所であることも相まって気分は地中海の島にいる気分でした。



2つ目は自然が豊かであり海山共に名所がある点です。土庄町にはエンジェルロードと呼ばれる、1日2回の干潮時に島と島をつなぐ砂の道が有名な名所があります。干潮時には向かいの島を往来できるので多くの人でにぎわいますが、潮が満ちはじめ、海に浸かっている道を歩くのも乙なものです。さながら海に囲まれて歩いているような気分を味わえます。山については、星ヶ城山に登頂し、澄み切った青空の下、町と海が一望できました。

11月頃には紅葉が寒霞渓という渓谷に広がっているようで、日本三大渓谷美にふさわしい景色を見せてくれるそうです。来年是非紅葉を見に行ってみたいと思います。

最後は二十四の瞳映画村です。映画村は小説「二十四の瞳」を映画化した際に使用したロケ地を改築しており、岬の分教場（下写真）をはじめ、昭和レトロなセットが撮影時のまま保存されています。小説自体には小豆島の名前は出ていませんが、当時の監督は作者が小豆島出身であることが影響したのか、映画化する際のロケ地に小豆島を選んだといわれています。

前述した温暖な気候や豊かな自然を有し、数多くのロケ地に恵まれていることも相まって数々の映画・ドラマの撮影やアニメの舞台になることも多く、改めて小豆島全体が多くの作品に影響を与えうるほどの魅力があると実感しました。



会員だより（東亜道路工業株式会社 鈴木 輝一）

スポーツ観戦野球編 2023

2023年プロ野球開幕！

今年はワールド・ベースボール・クラシック（WBC）侍ジャパンが大盛り上がりだったこともあり、例年以上にニュースでのプロ野球の取り上げ方がすごかったような気がします。また、今年は球場での声出しや鳴り物のある応援が解禁になりました。テレビ観戦の応援も楽しいけど、やっぱり球場でのライブ感満載の一体となる迫力はワクワク・ドキドキで最高ですね。



私が、野球観戦によく行くきっかけになったのは2021年日本シリーズ第6戦、娘に誘われてめちゃくちゃ寒い『ほっともっとフィールド神戸』で観戦したのが始まりです。まさかまさかの展開で延長12回東京ヤクルトスワローズが日本一を決めた試合です。



昨年リーグ最下位からの日本一凄いです。負けたチーム



の先発エース山本由伸投手プロ入り後、最多の141球を投げました。これもまた感動です。吐く息は寒さで白く、みんな、拍手だけの応援で5時間近くかなりの長丁場でも飽きなかった。それ以上の感動がありました。楽しかったです。この観戦を機にオリックスファンになり応援し始めて3年目になります。今年も数試合観戦しました。昨年に比べてチームも強く、観戦

制限もほぼ解除され球場で、ビール片手に声出し応援最高でした。ファールボールの初キャッチに成功しました。山本由伸投手のピッチングは生で見ると感動しますよ。日本球界最高年俸だけの価値あります。



皆さんも、家族や友人誘って頑張っている姿を応援するスポーツ観戦おすすめですよ。ストレス解消にもなるし、大きな感動をみんなで味わえます。

これからも時間の許す限り色々なスポーツを生で観戦していつか近い将来、大リーグで活躍する日本人の姿を現地で短パン・Tシャツ姿でビール片手に応援することを夢見ています。

編集後記

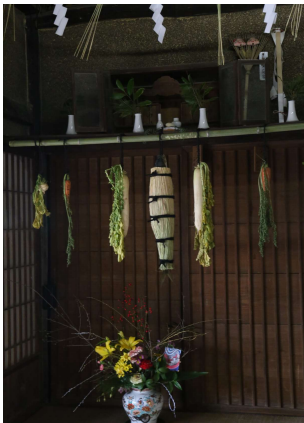
謹んで新春のお慶びを申し上げます。今年もよろしくお願いたします。

広報誌「四国だより」も2回目の発行となりました。執筆していただいた皆様ありがとうございました。引き続き各社のトピックス、社員紹介、支部活動についてお届けします。

さて、海外ではクリスマスが家族・友人が集まる一大イベントとなっていますが、日本ではお正月がその役割を担っています。帰省、お年玉、初詣、お節料理など、色々とやるべき行事がありますが、お正月飾りも先祖から伝わってきた大事な習わしのひとつです。

お正月飾りは、お正月に家々を訪れる年神様をお迎えするための目印であり、神様に滞在していただくための「依り代(よりしろ)」です。年神様は一年の始めに訪れて、私たちに1歳分の年齢と、その年の幸運を授けてくれます。

高松市屋島にある四国村ミュージアム内の古民家では毎年、もともと建っていた地域に伝わるお正月飾りを飾り付けます。写真を撮ってきたのでご紹介します。



香川県山間部の農家の神棚には鮭や野菜が飾られています。母川回帰の鮭は産卵のため遡上しますが、海の栄養を陸の奥まで運び上げるといった大切な役目もあります。



徳島県美波町の漁師さんの家には神棚にイワシが飾られています。節分に魔除けとしてイワシが飾られますが、正月飾りでは初めて見ました。

食料の確保が大変だった時代、人々は収穫の豊穰を年神様にお祈りしていたように思われます。子供の頃からスマートフォンを使い、世界中の情報に自由にアクセスできるようになった現代、皆様は何を願いますか。

皆様にとって、本年もより実りある年となりますようお祈り申し上げます。

令和6年1月

事務局長 圖子 正典

発行

一般社団法人 日本道路建設業協会四国支部

〒760-0017 高松市番町4丁目8番20号

TEL 087-861-6501 FAX 087-861-6502

E-mail shikoku-dohkenkyo@onyx.ocn.ne.jp

表紙写真 西瀬戸自動車道(多々羅大橋)